

みちしるべ

みずからのために道しるべを置きみずからのために標柱をたてよ (エレミヤ31:21)

人になれ 奉仕せよ

聖句 : 父と母を敬いなさい (エフェソの信徒への手紙 6:2)

- 保育目標 : 0歳児 ・先生と安心して過ごす中で、園生活に慣れていく。
- 1歳児 ・安心して、保育者と好きなものを見つけて遊ぶ。
- 2歳児 ・周りの大人に十分に受け入れられて、思いを表現する。
- 3歳児 ・友だちや先生と好きなことを見つけて遊ぶ。
- 4歳児 ・感じて考えて自分の思いをもって生活する。恵みを喜び、神さまに感謝する。
- 5歳児 ・自分のやり方で動き、様々なことに興味をもつ。恵みを喜び、神さまに感謝する。

進級・入園式から3週間くらいが過ぎました。保護者の方々も「大丈夫かな。」「大きくなったな。」等様々な思いを心に持ちながら過ごされてきたことでしょうか。進級した子どもたちは、私たちが思う以上に胸を躍らせ、「もう、ぼくおにいさんだから!」「だって年長さんだから!」等と話してくれます。新入園児の子どもたちは、初めての園生活、初めての母子分離で不安や寂しさはまだあるかもしれませんが、抱っこやおんぶ、また側に寄り添い、少しでも不安な気持ちが取り除かれ、安心して過ごせるよう私たちも一人ひとりに丁寧に関わっています。子どもたちが、自分の好きな場所・好きな遊びが見つかり夢中になれるよう、そして自然にも沢山ふれ五感を通して様々な経験が出来る様、園庭環境の整備もすすめています。お父さんの会と先生方と一緒に去年はビオトープの整備に取り組んできました。水中の生態系を、図鑑や水槽だけではなく実際に水の中で泳いでいる生き物に触れることで「いのち」の誕生や尊さを学ぶきっかけになってくれたらと願っています。

お父さんの会では、ビオトープ周りに草花を植栽します。そして今後は、ビオトープの中に、おたまじゃくしやメダカ等の生き物達の居場所となるように子どもたちと一緒に作っていきたいと思っています。先生たちも自然への関心や知識を高めるために、自然教育の研修である「保育ナチュラリスト」や「木育インストラクター」を通して学び、保育の中に取り入れています。遊びながら、自然に興味を持ち世界が広がっていくと心も感性も豊かになっていくと思います。8日の出会いの日では、私たちの園庭を知って頂けるよう、親子で楽しめるネイチャーゲームをする予定です。どんな自然が園庭に隠れているか、見つけてください。園庭の自然発見を子どもたちと一緒に味わいましょう。その後は、大学のグリーンスペースに移動し、クラスでの親睦を深めたり、親子スキンシップが出来るような時間となりますので楽しみにしててください。

子どもたちは、遊びを通して様々な事を学び成長していきます。きっとそこには、成功したことだけでなく失敗した経験もあるでしょう。そこから湧き出る悔しさ、頑張る気持ち、諦めない気持ち等もあるでしょう。それらが、「生きる力」の土台となっていきます。園生活を通して様々なことを経験する子どもたちのありのままの姿を愛を持って受け止め応答していきたいと思っています。そして、そこにはいつも神さまが側にいて、一人ひとりのお子さんを慈しみ、尊び、愛し守って下さることを信じ、子どもの持っている力に大いに期待しながら、六浦こども園で過ごす日々が恵み豊かな時となりますようにいつもお祈りしています。

副園長 松下 成美